

■ 防災マップについて

このマップは、がけ崩れや土石流などの土砂災害警戒区域や、各地区の避難所（場所）、消火栓・防火水槽の設置箇所その他防災に関する注意事項をまとめたマップです。

災害（火災）による被害を最小限に抑えるためには、日頃の準備や情報収集が大切です。このマップを使って、危険箇所や避難場所の確認、災害（火災）が発生したときの対処方法などを、家族や近所の方たちで話し合い、いざという時のために備えておきましょう。

特に、大雨のときには、雨の降り方や周りの状況に注意をはらい、常に早め早めの行動を心がけましょう。

なお、土砂災害警戒区域以外のあるところでも土砂災害が発生する場合がありますので、注意してください。

■ 災害から身を守るためには、日頃の備えが大切です

平常時の心得

天気予報や気象状況に気をつける。

梅雨期や台風シーズンなど、災害が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

非常食や持ち出すものを準備しておく。

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰など）を選びます。
また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

大雨や台風に備えて、家のまわりを点検・整備しておく。

家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは痛んでいないか確認しておきましょう。
また、家の前の排水溝が詰まっていないかなどの確認も必要です。

避難場所や避難路を確認しておく。

この地図には、災害時に避難する場所が示されています。
自分の地区の避難場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

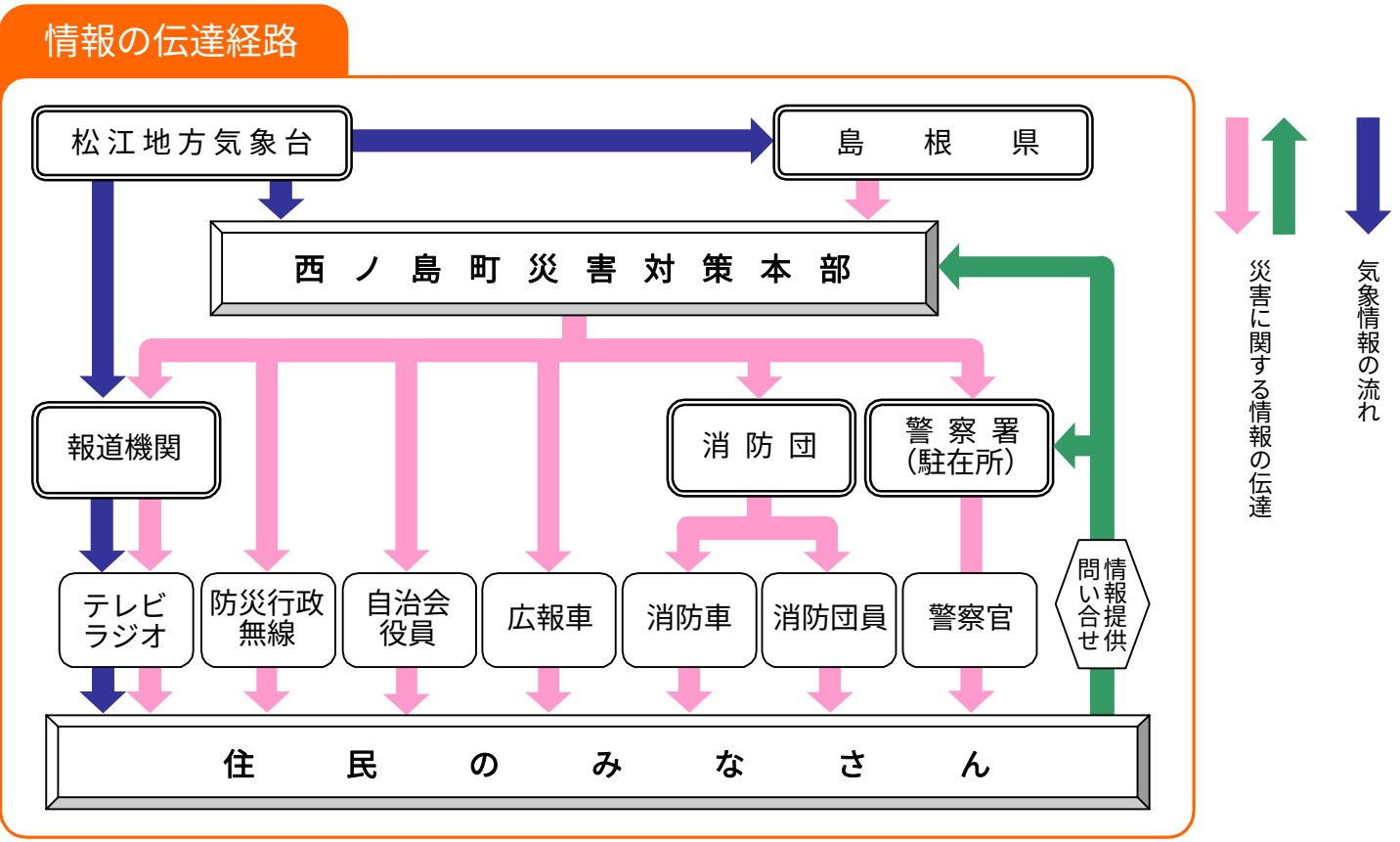
一人暮らしのお年寄りなどには気配りを。

自分の家族や住みだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。
特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、ふだんからの気配りが必要です。

■ 避難情報に注意してください

避難情報の種類		
種類	発令時の状況	みなさんがとるべき行動
避難準備 （災害時要援護者避難情報）	・災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。	・避難行動に時間を要する方は避難場所へ避難行動を開始し、避難支援者は支援行動を開始してください。 ・上記以外の方は、家族との連絡、非常持出品の用意等、避難準備を開始してください。
避難勧告	・通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。	・計画された避難場所への避難行動を開始してください。
避難指示	・前兆現象の発生や現在の切迫した状況から、人的被害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況。 ・人的被害の発生した状況。	・避難中の方は、確実な避難行動を直ちに完了してください。 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動をとってください。

■ 避難情報はどのように伝達されます



■ 雨の降り方に注意しましょう

雨の降り方の程度		
やや強い雨 （1時間に10～20mmの雨）		ザーザーと降る雨。 地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨です。 長雨になりそうなら注意が必要です。
強い雨 （1時間に20～30mmの雨）		どしゃ降りの雨。 傘を差していても濡れてしまうほどの雨です。下水があふれ、小河川ならん濫、また、がけ崩れの心配もあります。 テレビ、ラジオなどで今後の様子を注意し、長引きそうなら避難の心構えを。
激しい雨 （1時間に30～50mmの雨）		バケツをひっくり返したような激しい雨。 山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路が川のようになります。 避難の準備を。
非常に激しい雨 （1時間に50～80mmの雨）		滝のように降り、あたりが氷しぶきで白っぽくなります。 地下室に雨水が流れ込む場合があり、マンホールから水が噴出することもあります。 土石流等が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがあり、警戒が必要です。
猛烈な雨 （1時間に80mm以上の雨）		息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨。 雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

■ 風の強さに注意しましょう

風の強さと予想される状況			
平均風速(m/s)	風の強さ	人への影響	建造物の被害
10m/s以上 15m/s未満	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15m/s以上 20m/s未満	強い風	風に向かって歩けない。 転倒する人もでる。	ビニールハウスが壊れ始める。
20m/s以上 25m/s未満	非常に強い風	しっかりと身体を確保しないと転倒する。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m/s以上 30m/s未満		立ってられない。 屋外での行動は危険。	ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材がはがれ、飛び始める。
30m/s以上	猛烈な風		屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

■ 土砂災害警戒情報に注意してください

土砂災害警戒情報は、がけ崩れや土石流による土砂災害が発生するおそれがある時に、松江地方気象台と島根県が共同で発表する情報です。住民のみなさんが自主避難する場合の目安としてください。

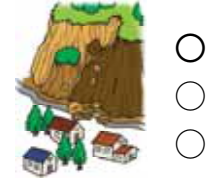
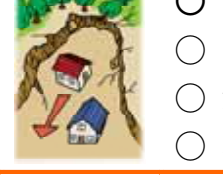


土砂災害危険度情報		
危険度	状況	対処方法
レベル1	3時間先の予測雨量で基準を超える状況	避難準備を行うとともに、避難に時間がかかる方は避難を開始してください。
レベル2	2時間先の予測雨量で基準を超える状況	『土砂災害警戒情報』が発表されます。土砂災害の恐れのある場所では避難を開始して下さい。
レベル3	1時間先の予測雨量で基準を超える状況	早急に避難を完了してください。
レベル4	すでに実況で基準を超えている状況	いつ土砂災害が発生してもおかしくありません。避難がまだの方は斜面から離れるなどの措置を講じてください。

■ 逃げ方を知っておきましょう

避難のしかた	
	土石流・がけ崩れから逃げるときは 異常を察知したらすぐさま斜面や渓流から離れてください。 土砂の流れ落ちる速度はとても速く、下流方向に逃げては追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角（横方向）に逃げてください。家の外への避難が困難な場合は、2階や斜面から遠く離れた側へ避難してください。
	洪水の最中に避難するときは 水の勢いが強い場合は無理をせず救助を待ってください。 水の中を歩くときは、長い棒などを使い、障害物や側溝などがないか気をつけ、足元を確認しながら進んでください。

■ まえぶれ現象に注意しましょう

土砂災害の種類とまえぶれ		
がけ崩れ （急傾斜地の崩壊）		○ がけから小石がばらばらと落ちてくる。 ○ がけに割れ目が見える。 ○ がけから水が湧き出ている。
地すべり		○ 沢や井戸の水が濁る。 ○ 地面にひび割れができる。 ○ 斜面から水が噴き出す。 ○ 樹木が傾いたり、倒れたりする。
土石流		○ 急に川の水が濁り、上流から流木などが混ざり始める。 ○ 山鳴りがする。 ○ 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ○ 異様な臭いがする。
このようなまえぶれ現象を見つけたら、すぐに役場など関係機関に連絡しましょう！		

■ 災害時要援護者への避難協力をおねがいします

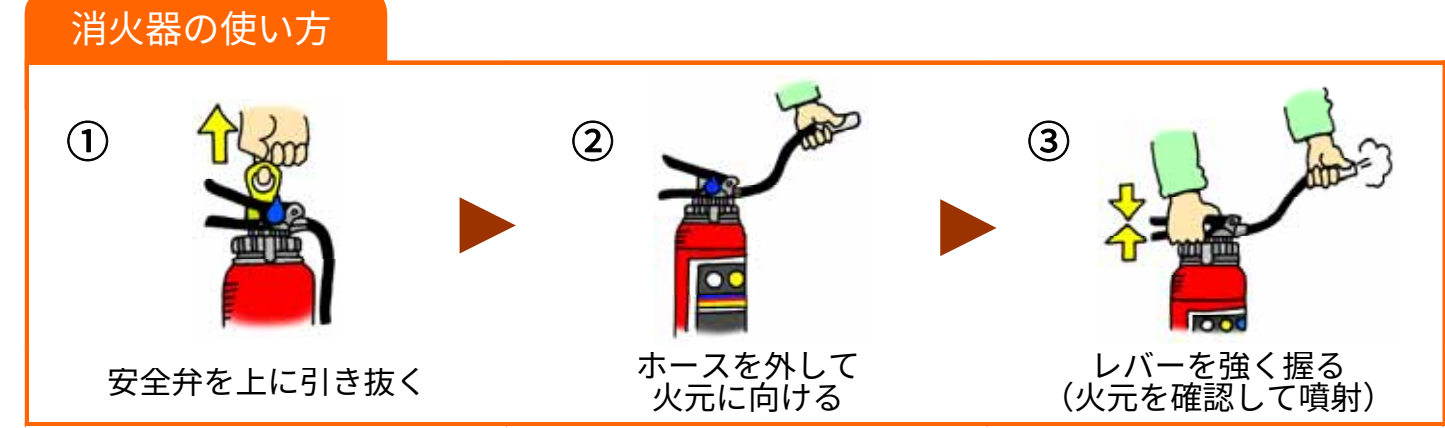
要援護者への協力	
	高齢者・病人 複数の人で対応してください。 急を要するときは、ひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難します。
	目の不自由な人 「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけてください。話しかける相手の声が頼りですので、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で。 誘導するときは、杖を持っていないほうのひじのあたりを軽く触れるか、腕をかり、半歩前くらいをゆっくり歩いてください。
	肢体の不自由な人 それぞれの人に適した誘導方法を確認してください。 車椅子の場合は、階段では必ず3人で協力し、上がるときは前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮してください。
	耳の不自由な人 話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしてください。 口頭で分らないようであれば、紙とペンで筆談してください。紙やペンがなければ、相手の手のひらに指先で字を書いて筆談してください。

※ 災害時要援護者とは、災害が発生した場合に自力での移動や情報の収受が難しく、避難するために何らかの手助けが必要な方のことをいいます。

■ 火災時の心がけをおねがいします

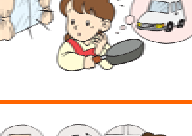
火災に遭ったら、周囲の人と協力しながら落ち着いて迅速に行動しましょう。

火災を発見したとき	
	はやく知らせる ただちに周囲の人に大声で知らせ、協力を求めてください。 すぐさま119番に通報してください。
	はやく消す 初期消火ができるのは、炎が天井に燃え移るまでのわずかな間です。 天井に燃え移るなどして火の勢いが衰えなければ、すぐさま避難しましょう。
	はやく逃げる 初期消火が無理と判断したら、すみやかに避難してください。 いったん避難したら、決して戻ってはいけません。

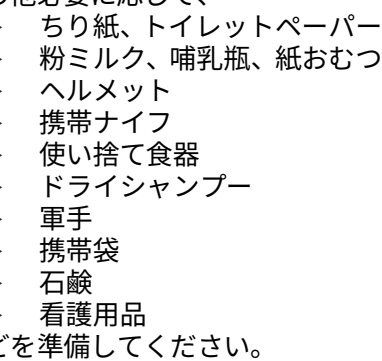


日頃の備え	
	日頃から備えをしましょう 日頃から消火の備え（火災報知器の設置、消火器の点検、防火訓練の参加など）をしましょう。
	消防水利の周りにものを置かないで 消防水利（消火栓・防火水槽）の付近に障害物があると、いざという時に消火活動の妨げとなります。 消防水利の付近に駐車をしないうでください。その他、物を置いたり雪かきした雪を積むなどしないようにしてください。

■ 避難時の心得を日頃から確認しましょう

避難時の心得	
	安全な避難路の確認を 避難場所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
	非常持ち出し品の事前準備を 避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。
	正確な情報収集と自主的避難を テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。 雨の降り方に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
	避難の呼びかけに注意を 危険が迫ったときには、役場や消防団から避難を呼びかけられることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。
	避難する前に 避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難場所を確認しましょう。 また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。
	速やかに避難しましょう 避難勧告などは危険が迫ったときに出示されますので、速やかに避難しましょう。 避難の際には役場や警察などの指示に従いましょう。
	お年寄りなどの避難に協力を お年寄りや子供、病気の人などは、早めの避難が必要です。 近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。
	動きやすい格好、2人以上での避難 避難するときは動きやすい格好で行動しましょう。 2人以上での避難を心がけましょう。

■ 非常時の持ち出し品を事前に準備しましょう

非常持ち出し品一覧	
 懐中電灯	 携帯ラジオ 予備乾電池
 飲料水	 非常食
 救急セット	 衣類・下着類
 タオル	 その他必要に応じて、 ➢ ちり紙、トイレットペーパー ➢ 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ ➢ ヘルメット ➢ 携帯ナイフ ➢ 使い捨て食器 ➢ ドライシャンプー ➢ 軍手 ➢ 携帯袋 ➢ 石鹸 ➢ 看護用品 などを準備してください。

■ 緊急連絡先

緊急連絡先一覧		
行政関係		消防署
西ノ島町役場本庁	6-0101	隠岐島消防署 119
〃 別府支所	7-8101	〃 島前分署 6-1119
島根県県土整備局島前事業部	7-9111	警 察
ライフライン関係		島根県警察本部 110
中国電力(株) (停電・故障)	0120-313-608	浦郷警察署 6-0121
*ガス会社		医療機関
西ノ島町役場生活環境課 (上下水道)	6-1748	隠岐島前病院 7-8211
ごみ焼却場 清美苑 (ごみ)	6-1338	浦郷診療所 6-1211

*印はご家庭で記入してください。

■ 情報の入手先

インターネット	
◆しまね防災ポータル (PC版) (携帯版)	防災情報の閲覧 (気象情報、土砂災害危険度情報 他) http://www.bousai-shinane.jp/ http://www.bousai-shinane.jp/m/
◆しまね防災メール (登録アドレス)	bousai-shinane@expressmail.jp (空メール送信)
◆西ノ島町役場	http://www.town.nishinoshima.shimane.jp/



しまね防災メール 二次元コード

■ 防災メモを作りましょう

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
緊急連絡先	

家族の連絡先

氏 名	生年月日	電話（勤務先・学校）